

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月29日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO 財務本部長 (氏名) 宇野 隆俊 TEL 075-951-7171
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	216,091	—	1,562	—	1,433	—	26	—
2021年3月期第2四半期	185,462	△10.4	△462	—	△708	—	△1,963	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,254百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △2,621百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	0.25	0.25
2021年3月期第2四半期	△18.43	—

(参考) のれん等償却前営業利益 2022年3月期第2四半期 6,306百万円 (45.2%)

2021年3月期第2四半期 4,342百万円 (△53.7%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	365,630	56,302	15.2	522.65
2021年3月期	363,505	55,542	15.1	516.08

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 55,713百万円 2021年3月期 55,000百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	8.00	8.00
2022年3月期	—	—	—	8.00	8.00
2022年3月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	—	5,000	—	4,000	—	1,000	—	9.38

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

(注2) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	106,605,013株	2021年3月期	106,580,013株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	7,216株	2021年3月期	7,216株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	106,581,368株	2021年3月期2Q	106,534,027株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍からの経済活動の復調傾向が継続する中での推移となりました。海外においては、ワクチン接種が進んだことで欧米・中国において規制緩和が更に進み、業種によって回復の度合いは異なるものの、復調傾向は確実に進展しております。一方、日本においては、コロナ禍による落ち込みが欧米に比して小さかったこともあり、その反動需要は顕著ではなく、復調傾向は緩やかに推移しております。

フォークリフト市場は、海外においては、先行して回復を見せた中国はもとより、昨年9月頃からは欧米を中心として、これに続いてアジアでも力強い伸長を見せております。当第2四半期連結累計期間においてその傾向は継続し、反動需要もあってコロナ禍前の水準を超えるほどにまで回復してきております。また、日本においては、経済と同様に市場の復調傾向は緩やかではありますが、コロナ禍前の水準に回復してきております。

しかしながら、世界経済およびフォークリフト市場が復調する中、欧米・中国を中心とした急激な経済回復により需要に供給が追いつかない状況となって、資源高・原材料市況や輸送運賃の高騰・サプライチェーンの混乱を引き起こしており、生産およびコスト面に大きな影響を及ぼしてきております。

このような状況の中、当社においても、フォークリフト市場の伸長を受けてグループ各社の受注は好調ではあるものの、部品供給の確保・整流化を進めて受注の増加に対応した生産・出荷を実現し、納期を順守することが喫緊の課題となっております。現在、この課題の解消に注力しているところではありますが、新型コロナウイルス感染症の変異型による感染再拡大や雇用の伸び悩み、米国を初めとした急激なインフレ進行など世界経済の先行き不透明感も相まって、依然として予断を許さない状況が続くものと思われま

す。この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、2,160億9千1百万円（前年同期比16.5%増加）となりました。利益面についても、売上高増加の影響から、営業利益は15億6千2百万円（前年同期4億6千2百万円の損失）、経常利益は14億3千3百万円（前年同期7億8百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2千6百万円（前年同期19億6千3百万円の損失）となりました。

なお、のれん償却等の影響を除くと、営業利益は63億6百万円（前年同期比45.2%増加）となり、営業利益率は2.9%となっております。

また、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間の売上高が8億1千8百万円減少、売上原価が9千5百万円減少、販売費及び一般管理費が7億9千1百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ6千7百万円増加しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内事業〕

国内事業は、需要の復調傾向もあり、売上高は836億2千4百万円（前年同期比3.6%増加）となりました。セグメント利益は、売上高の増加が寄与し、3億4千5百万円（前年同期4億6千万円の損失）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は27億3千8百万円（前年同期比29.4%増加）となっております。

〔海外事業〕

海外事業は、欧米を中心とした力強い市場の復調により、売上高は1,324億6千7百万円（前年同期比26.5%増加）となりました。セグメント利益は、原材料市況や輸送運賃の高騰もあり、12億1千7百万円（前年同期1百万円の損失）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は35億6千7百万円（前年同期比60.3%増加）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,656億3千万円となり、前連結会計年度末より21億2千5百万円増加しました。流動資産は、棚卸資産の増加等により69億6千1百万円増加しました。固定資産は、のれん等償却などにより48億3千5百万円減少しました。

負債合計は3,093億2千8百万円となり、前連結会計年度末より13億6千5百万円増加しました。借入金の減少はあるものの、仕入債務の増加の影響が大きく、全体として増加しました。

また、純資産については、新株予約権及び非支配株主持分を除くと557億1千3百万円となり、前連結会計年度末より7億1千2百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第2四半期連結累計期間までの実績を踏まえて、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2021年10月29日)公表いたしました「2022年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,000	14,634
受取手形及び売掛金	69,127	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	66,800
電子記録債権	1,639	2,137
商品及び製品	37,569	39,898
仕掛品	9,940	12,606
原材料及び貯蔵品	13,744	20,220
その他	46,668	44,361
貸倒引当金	△1,138	△1,145
流動資産合計	192,552	199,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,630	19,995
機械装置及び運搬具(純額)	46,168	46,121
土地	21,841	21,624
その他(純額)	9,489	10,065
有形固定資産合計	98,130	97,808
無形固定資産		
のれん	35,609	32,298
その他	19,251	17,778
無形固定資産合計	54,861	50,076
投資その他の資産		
投資有価証券	7,152	7,724
その他	10,862	10,558
貸倒引当金	△53	△51
投資その他の資産合計	17,960	18,231
固定資産合計	170,952	166,116
資産合計	363,505	365,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,670	45,599
電子記録債務	15,606	16,667
短期借入金	44,351	42,820
未払法人税等	2,590	2,525
賞与引当金	4,255	4,056
役員賞与引当金	73	30
製品保証引当金	3,093	3,189
関係会社整理損失引当金	75	75
その他	36,223	36,450
流動負債合計	148,939	151,414
固定負債		
長期借入金	130,165	128,430
製品保証引当金	2,016	2,026
役員退職慰労引当金	14	7
退職給付に係る負債	15,770	15,728
その他	11,056	11,721
固定負債合計	159,023	157,914
負債合計	307,962	309,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,913	4,919
資本剰余金	34,750	34,756
利益剰余金	10,655	10,102
自己株式	△2	△2
株主資本合計	50,315	49,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,421	2,803
為替換算調整勘定	2,370	2,841
退職給付に係る調整累計額	△107	292
その他の包括利益累計額合計	4,684	5,937
新株予約権	251	284
非支配株主持分	290	304
純資産合計	55,542	56,302
負債純資産合計	363,505	365,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	185,462	216,091
売上原価	141,413	166,593
売上総利益	44,049	49,497
販売費及び一般管理費	44,512	47,935
営業利益又は営業損失(△)	△462	1,562
営業外収益		
受取利息	314	291
受取配当金	38	46
持分法による投資利益	—	8
為替差益	—	29
補助金収入	618	18
その他	177	228
営業外収益合計	1,147	623
営業外費用		
支払利息	724	734
持分法による投資損失	386	—
為替差損	157	—
その他	125	18
営業外費用合計	1,394	752
経常利益又は経常損失(△)	△708	1,433
特別利益		
固定資産売却益	46	105
投資有価証券売却益	0	0
受取保険金	41	2
特別利益合計	88	107
特別損失		
固定資産処分損	110	111
減損損失	142	171
災害による損失	48	0
関係会社整理損	33	—
事業構造改善費用	498	—
特別損失合計	833	282
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,454	1,258
法人税、住民税及び事業税	1,686	1,613
法人税等調整額	△1,228	△399
法人税等合計	458	1,213
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,912	44
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	17
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,963	26

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,912	44
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	343	381
為替換算調整勘定	△1,145	418
退職給付に係る調整額	83	400
持分法適用会社に対する持分相当額	10	9
その他の包括利益合計	△709	1,209
四半期包括利益	△2,621	1,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,624	1,238
非支配株主に係る四半期包括利益	2	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細については、(会計方針の変更)に記載しております。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これによる主な変更点は、次の通りです。

従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました当社から販売代理店に支払われる対価の一部を、取引の実態に鑑み変動対価や顧客に支払われる対価とし、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が818百万円減少、売上原価が95百万円減少、販売費及び一般管理費が791百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ67百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は272百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えは行なっておりません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,744	104,718	185,462	—	185,462
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,085	719	12,805	(12,805)	—
計	92,830	105,437	198,268	(12,805)	185,462
セグメント利益又は損失(△)	△460	△1	△462	—	△462

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,624	132,467	216,091	—	216,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,975	1,081	23,056	(23,056)	—
計	105,599	133,548	239,147	(23,056)	216,091
セグメント利益又は損失(△)	345	1,217	1,562	—	1,562

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の国内事業の売上高は818百万円減少、セグメント利益は67百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

3. その他

2022年3月期 第2四半期決算 参考資料<連結>

1. 決算ハイライト

(単位: 億円)

	2020年度					計	2021年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q	3Q	4Q	計	
売上高	905.3	949.2	987.9	1,072.3	3,914.9	1,080.7	1,080.1			2,160.9	
営業利益<のれん等償却前> (営業利益率)	10.3 1.1%	33.0 3.5%	33.4 3.4%	33.0 3.1%	109.9 2.8%	34.7 3.2%	28.2 2.6%			63.0 2.9%	
のれん等償却	△ 21.9	△ 26.1	△ 23.5	△ 22.3	△ 93.9	△ 22.7	△ 24.7			△ 47.4	
営業利益<のれん等償却後> (営業利益率)	△ 11.5 △ 1.3%	6.9 0.7%	9.8 1.0%	10.6 1.0%	15.9 0.4%	12.0 1.1%	3.5 0.3%			15.6 0.7%	
経常利益 (経常利益率)	△ 13.7 △ 1.5%	6.7 0.7%	11.5 1.2%	15.6 1.5%	20.1 0.5%	11.9 1.1%	2.4 0.2%			14.3 0.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	△ 15.7 △ 1.7%	△ 3.8 △ 0.4%	△ 5.9 △ 0.6%	△ 1.2 △ 0.1%	△ 26.8 △ 0.7%	△ 0.3 △ 0.0%	0.6 0.1%			0.2 0.0%	

為替レート

(単位: 円)

USD	107.62	106.92	106.12	106.06		109.49	109.80		
EUR	118.48	121.30	122.37	123.70		131.93	130.88		

2. セグメント情報

(単位: 億円)

		2020年度					計	2021年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q	3Q	4Q	計	
売上高	国内事業	383.8	423.5	424.4	452.9	1,684.8	409.2	426.9			836.2	
	海外事業	521.4	525.6	563.5	619.4	2,230.1	671.4	653.1			1,324.6	
営業利益	国内事業	4.4	16.7	15.3	20.0	56.6	11.3	16.0			27.3	
	海外事業	5.9	16.2	18.0	12.9	53.2	23.4	12.1			35.6	

※営業利益はのれん等償却前営業利益

地域別売上高

(単位: 億円)

地域	2020年度					計	2021年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q	3Q	4Q	計	
日本	383.8	423.5	424.4	452.9	1,684.8	409.2	426.9			836.2	
米州	323.4	325.5	330.2	366.7	1,346.0	400.4	404.4			804.8	
欧州	147.3	150.1	177.8	186.4	661.8	196.4	171.8			368.2	
アジア・中国	50.6	49.9	55.4	66.2	222.2	74.6	76.9			151.5	
計	905.3	949.2	987.9	1,072.3	3,914.9	1,080.7	1,080.1			2,160.9	

3. フォークリフト販売台数

(単位: 千台)

	2020年度					計	2021年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q	3Q	4Q	計	
国内	7	6	7	7	27	7	7			14	
海外	14	12	15	17	58	18	16			34	
合計	20	19	22	24	85	25	23			48	